



■発行/都会メディカルケアシステム 渡辺 康介  
 ■編集/地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地  
 ■ホームページ/https://www.miyakokai-kyoto.com/  
 ■お問い合わせ/ Jf1@miyakokai.or.jp

**理念**  
 ■患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします  
 ■医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします  
 ■職員の質の向上をはかります



今月のご長寿様

吉田 イサ 様  
 大正9年7月26日生まれ(97歳)



渡辺西賀茂診療所  
 医師 和田 光正

### 終わりになき旅の途中で

大変お世話になっております。私は自治医科大学を卒業して30年を滋賀県職員として過ごしました。その間、実に様々な経験をさせていただきましたが、大雑把に経歴を申し上げますと、地域保健医療と職域保健医療、母校では教員として教育にも携わりました。

例えば、朽木村には二度赴任しましたが、十年で大きく様変わりしてしまいました。はじめて赴任したときは公的介護保険制度も施行されておらず、訪問診療も存在しませんでした。往診に喚ばれて患者に赴くというような、実にほのぼのとした時代もありました。昔の地域医療をリアルに知る医者はもはや数少ないと思います。また私事ですが、二年前には膨大に蓄積された知識と経験に形を与えるべく新たな研究をスタートさせました。

一方、私にはまだまだ学ばねばならないことがあり、医師として現場に立ち続けることの重要性を強く感じています。自治医科大学での教員時代には、今に言う根拠に基づいた医療、物語に基づいた医療、総合診療などを学んでおりましたが、個人的には現象学的方法論に興味がありました。それらの学問を現場で役立たせるためにはどうすればよいのか、そもそも病とは何か、治るとはどういうことか、スピリチュアリティ(霊性)のことなど、探求すべきことは山積しておりますが、これからは目の前の課題に真摯に向き合うなかで考えてまいります。と存じます。宜しくお願い致します。

## ワンポイント講座

### 渡辺西賀茂診療所 訪問リハビリ

今回は、電動ベッドの快適な使い方をご紹介します。よく、ベッドの下に体がずり落ち、胸部や腹部を圧迫している姿勢が見受けられます。これでは美味しい食事や楽しい会話も苦痛で楽しさ半減です。



背上げ・足上げのできる電動モーターベッドをご利用の場合、手順を以下のようにすると、とても快適な姿勢で過ごせます。背もたれを上げた後、背面の衣類の皺を伸ばす(背抜き)と、グッと快適になりますよ。



③背もたれを上げ、背抜きを行なう(衣類を整える)



クロスワード「答え」

|   |    |    |   |   |   |
|---|----|----|---|---|---|
| 1 | サ  | ギ  | ■ | ア | ミ |
| 2 | ■  | ■  | ス | ガ | オ |
| 3 | 5  | 6  | カ | モ | リ |
| 4 | 7  | 8  | フ | リ | ツ |
| 5 | 9  | 10 | ジ | ■ | グ |
| 6 | 11 | 12 | ■ | ル | メ |

(モミジガリ・紅葉狩り)

モデルサム基金

善意の浄財を、皆様のより良い生活のお手伝いのためのボランティア活動に活用させていただきます。田尻・北ノ岸町内会様、どうもありがとうございました。

## 新人職員紹介



訪問看護ステーション  
松元 沙織

三重、名古屋、大阪と様々な地を経て、今年の5月に京都へ参りました。そして、7月から都会で働かせていただいています。新たな環境で、初めは不安と緊張がありました。都会の方々、利用者様やご家族の優しさに支えられ、日々笑顔で訪問することができています。

利用者様やご家族が持つ力を大切にしながら、皆様が穏やかに過ごせるようお手伝いさせていただきたいと思えます。これからも、笑顔をとりに頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## ICT委員会のご紹介

小原 章 央

ICTとは、「Information and Communication Technology」の略で、日本語では「情報通信技術」と訳されますが、簡単にいえば、「インターネットを使ったコミュニケーション」のことです。

私たちICT委員会の役割は2つあります。1つは、法人内におけるインターネットを使った情報共有に関する管理と促進です。私たちの法人には医療・介護の様々な専門職がいて、互いに連携してご利用者さんの在宅生活のお手伝いをしています。連携にあたり必要な情報の共有にあたり、私たちはインターネットも有効活用しており、その管理をICT委員会が行っております。

もう1つは情報発信です。私たちの日々の取り組みを、ホームページとフェイスブックで発信しております。ぜひこちらも御覧ください。



## オレンジカフェ



介護保険サービスの「入り口問題」は皆さんご存知でしょうか？介護保険は介護認定が無いとサービスを利用することができません。

しかし、その仕組みをご存じ無い方も多く、やっとサービスが入った時には、既に認知症やその他の症状が進行していたといったケースを私達も目の当たりにしてきました。当法人では平成26年11月から「少しでも地域の方々に貢献できれば」という気持ちで「おせっかいカフェ」を月に1回開店してきました。

お陰様で毎回楽しみにカフェに来店される方もできましたが、冒頭に書きました「入り口問題」に対しては満足する効果を得られなかったのが現状でした。そこで平成29年3月より、認知症の方のみが利用できる「オレンジカフェにしがも」を新たにオープンし、月に1回営業しています。認知症であってもご本人やご家族が住み慣れた地域で安心して住み続けられるお手伝いをと心して取り組んでおります。

この気持ちで取り組んでおります。対象の方は認知症がある方とそのご家族です。早速サービスにつながった方もいらっしゃいます。

まずはお気軽に、当法人スタッフ

もしくは法人本部までお問い合わせ

下さいませ。



## 職場のパワーハラスメントを考える。 メンタルハラスメント研修に参加して

西賀茂アイサービスセンター 介護主任 清水 雄 慈

最近では、新聞ニュースなどのメディアでもパワーハラ、セクハラなどの問題を多く取り上げられるようになり、普段から「私たちが働く職場環境ではどうか？」と自分の言動や行動について以前から考えさせられることがありました。今回研修で正しい知識、世の中の現状、どのようなことに気をつければよいかを研修目的である、従業員全員が互いに尊重し合いパワーハラスメントを起こさせないよりよい、働やすい職場を作る。というテーマのもと多くの学びを得る機会となりました。

講義の中で一番印象に残り大切だなと感じたのは、パワーハラスメントを予防するためのメンタルヘルス対策の基本である、挨拶・声掛け・聴く・つながり、ということでした。これは、普段利用者様、ご家族と関わる時に対人援助職である私

たちが大切に行っていることと同じでコミュニケーションを図る上でも欠かせないものだと考えます。ちょっと視点を変えて同じチームのメンバーに対しても行うことで、互いを理解し尊重できるチームを作ることが現場で私に実践できることだと考えます。

風通しのいい職場環境を作ることをご利用者様へのよりよいサービスの提供、質の向上に繋がると思っています。今回学んだことを生かすには、どうしたらよいか？を常に考え、仕事に取り組んでいきたいです。

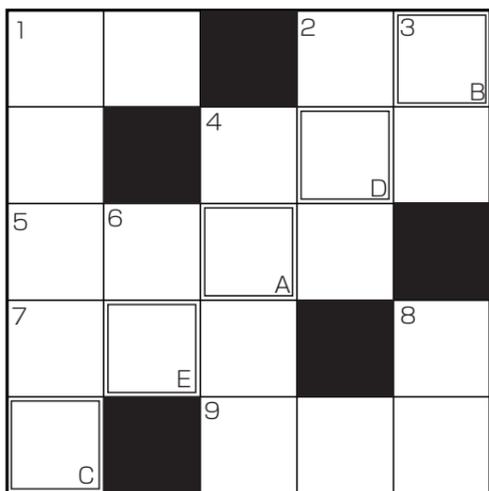


## 『クロスワード』

出題 小田 正

### 「問題」

A～Eをつなぐと答えです



### 〈たてのカギ〉

- 1 水に映った富士山
- 2 鮭屋で飲むお茶
- 3 漢字と書く船の航跡
- 4 工場からの大気汚染
- 6 渡り鳥ガンの異名
- 8 五臓の患いともいう

### 〈よこのカギ〉

- 1 寸借やオレオレなど
- 2 昆虫採集に持ってゆく
- 4 すっぴん
- 5 どんちゃん騒ぎ
- 7 京・大阪だけに
- 9 食通・美食家